



# 月刊 千葉労働

国鉄千葉動力車労働組合  
〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)  
電話(鉄電) 千葉 2935・2936番  
(公) 043(222)7207番

92.12.15 No.3709

## 安全にたつ危機、合理化、いらないとめど

【別表】

提案された合理化項目	幕張電車区	習志野電車区	京葉電車区	千葉運転区
機動班と交番検査班の業務の融合による要員削減	▲1	▲1	▲1	—
技術管理室の各業務の融合による要員削減	▲1	▲1	—	—
車輪添削状況をITV監視することによる要員削減	—	—	▲1	—
高性能車輪旋盤導入、編成単位転削作業による分併要員削減	▲11 (運転士▲2、構▲9)	—	—	—
担当者別作業の見直しによる事務要員削減	—	—	—	▲1

	最大転削留置両数	最大転削両数/日	転削車両の分割・併合回数/日	転削車両の推進運転回数/日
現	3	3	16	10
改	11	5	0	0

※ 運輸関係は、上記▲16名に加え、車掌指導担当要員+2名が提案されており、差し引き▲14名となる。

この間検査職場は、数次にわたる検査周期延伸・検査廃止と要員合理化によって、要員が半減されている。例えば、一三系(4M2T)の交換作業は、分割・民営化前に二名で行な

っていたものが現在では十一名である。さらに加えて、習志野・京葉では、「二日交換」体制となつて更に要員が減らされている。このような要員配置では、まともな検査ができるはずもなく、現に現在のJRの車両は、原因不明の故障が多発したり、検査が廃止された主電動機をはじめ回転機の故障が頻発するな

### 分割・民営化で交検要員半減

千葉支社は、一二月八日及び一四日、今年度末の合理化施策を提案してきた。提案された内容は、営業関係▲六三名、運輸関係▲一四名、電気関係▲一五名、計九二名の削減という、断じて許すことのできない合理化攻撃である。今回は、検査を中心とした運輸関係の提案内容について明らかにする。

## 検査合理化を許すな

ど、危機的な状況に至っている。

大事故が発生することは必定!!

検査と機動班、技術管理室の各パートを融合すると言うのである。要は、検査労働者にヘトヘトになるまでの労働強化を強いて人減らしをしようということだ。具体的な内容は別表のとおりであるが、こんなことを繰り返していけば、大変なことになる。いつか大事故が起きるのは必定である。

今回の合理化提案は、この要員を更に削減するために、交番



前略 被解雇者を守りぬく  
左に在り 又自衛隊派兵反対  
のたたかい 勝利までやむわけに  
はいけなからいと思ひます。今自民党  
の金丸、竹下 等の多数の者が  
暴力団・金とつながり 人民の憤激  
をかき立てています。この時期、野党の連  
も弱く 各種市民運動の蜂起となつて  
あうわけははじまりました。  
五 労働千葉の絶えることのないたたかい  
に連帯し 私たちががんばりたいと思ひます。

## 達成しよう! 物販売上2倍化 組合員目標2万円

この中野支店長も先頭には細合員の大目さの  
活動にはいつも勇気づけられています。  
今年も冬も厳しくかかっています。不当解雇をばねとし  
全員一丸とるた活動で勝利をかかるとの試練にうづ  
かて下さい。  
物販販売代金の残りはかかっています。よろしく。